福生市　市政世論調査
報　告　書

平成12年11月

福　　生　　市

市民憲章

美しく連なる山なみを望み、しずかに流れる多摩川のもと、雑木林と桑畑の武蔵野台地にひらけた福生市は、多くの人たちのたゆみない努力によって発展をつづけています。

私たち市民は、この地をふるさととして愛し、平和を願い、いきいきとした市民のまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

1　私たちは　健康な心と体をつくり　充実（じゅうじつ）した豊かな日々をおくりましょう。

1　私たちは　老人を敬（うやま）い　子供の健（すこ）やかな成長につとめ　明るい家庭をつくりましょう。

1　私たちは　自然をたいせつにし　花や木を育て　美しい緑のまちをつくりましょう。

1　私たちは　教養（きょうよう）を高め　情操（じょうそう）を養い　文化の薫（かお）るまちをつくりましょう。

1　私たちは　たがいに親しみ　助けあい　みんなが幸せになるまちをつくりましょう。

福生市　市政世論調査
報　告　書

平成12年11月

福　　生　　市

はじめに

年がかわると、いよいよ２１世紀になります。これまで福生市では、『輝く街福生』の実現のため、快適な環境のもとに国際性豊かな美しいまちづくりの推進に向けて着々と歩みつづけてまいりました。

しかしながら、地方自治体を取り巻く環境は、明治維新以来の第３の改革と言われる地方分権の波を受け、大きく変化しはじめております。地方分権をひとつのきっかけとして、自治体として市民への本来の意味でのサービスの度合いや、市民がいかに行政に参画しているかなど、様々な角度からの評価がなされようとしております。

このような時代背景の中で、市民とともに市政をより効果的に進めていくために、幅広い市民の意識や意向を的確に把握し、市政に反映させるとともに、行政運営の方向性を探るため世論調査を実施いたしました。この調査結果につきましては、市民の皆様とともに、新世紀の「やすらぎ　いきいき　輝く街　福生」に向かってのまちづくりを進めていくための参考として活用していきたいと考えております。

この調査に御協力いただきました市民の皆様に厚くお礼申し上げますとともに、今後とも市政運営に対し御理解と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成１２年１１月

福生市長　野　澤　久　人